

発達障害啓発週間



毎年
4/2~4/8は
発達障害啓発週間
です！

2007年国連において、毎年4月2日を「世界自閉症啓発デー（WAAD）」とすることが定められたのを機に、わが国では4月2日からの1週間を「発達障害啓発週間」と定め、広く発達障害についての理解と支援をよびかける活動を進めています。

発達障害啓発イベント 2026 JDDnet 大阪企画

どうなっている？ 高等学校卒業後の進路 ～就労に向けて～

日時：2026年4月5日（日）13:30～16:30

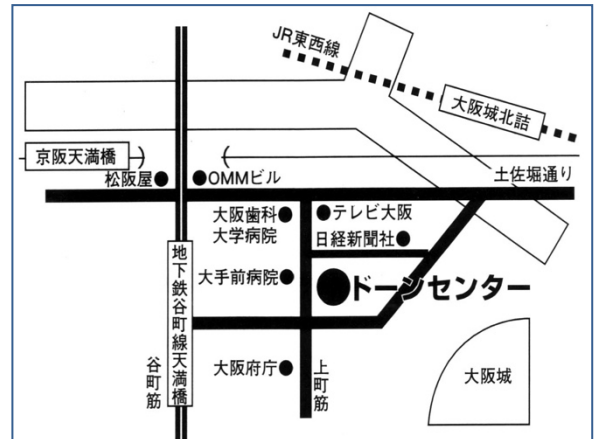
（13:15 受付開始）

会場：ドーンセンター 4F 大会議室1
（大阪府立男女共同参画・青少年センター）

参加費：一般 1,000円
JDDnet会員 500円

定員：50名（申し込み先着順）

申込先：裏面 二次元コードからお申込み下さい



プログラム

- 13:30 開会 あいさつ
- 13:40 シンポジウム 「どうなっている？高等学校卒業後の進路 ～就労に向けて～」
 - 司会者 本居 宣久 氏（大阪LD親の会「おたふく会」）
 - 基調講演
 - ①成人期の相談の現状
岡 あゆみ 氏（大阪府発達障がい者支援センター アクトおおさか センター長）
 - ②大学での実践
松久 眞実 氏（桃山学院大学 人間教育学部 教授）
 - ③大学在学中から就職をめざすとりのくみ
窪 貴志 氏（株式会社エンカレッジ 代表取締役）
- 15:20 休憩
- 15:30 討論・質疑応答
- 16:20 閉会

主催：日本発達障害ネットワーク大阪（JDDnet 大阪）
後援：日本発達障害ネットワーク（JDDnet）

発達障害者支援法の制定や、障害者差別解消法の施行・改正を経て、教育現場における合理的配慮や支援の枠組みは少しずつ整えられてきました。しかし高等学校卒業後、就労に向けて「学校の外」へと踏み出す高等教育期においては、支援が見えにくくなり、本人や家族が戸惑いを抱える場面が少なくありません。「この先、どうなるのか」「いつ、何を準備すればよいのか」といった不安の声も多くあがっています。本企画では、相談支援、大学現場、就活支援での実践を通して、高校卒業後の進路の“いま”を可視化し、発達障害のある若者が自分を理解し、強みを活かして社会へ向かうために必要な支援のあり方を、皆さんとともに考えていきたいと思えます。

申込方法

申込先 : 右記二次元コード (QRコード) から
お申込みください。



- ※ 参加費は、当日会場受付にてお支払いください。
- ※ 定員 (50名) になり次第締め切ります。
- ※ お問い合わせ : jddnet.osaka.20240915@gmail.com

日本発達障害ネットワーク (JDDnet) は、発達障害関係の全国および地方の障害者団体や親の会、学会・研究会、職能団体などを含めた幅広いネットワークで、我が国における発達障害を代表する全国組織として従来制度の谷間に置かれ支援の対象となっていなかった、あるいは適切な支援を受けられなかった、自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害等の発達障害のある人および家族の権利と利益の擁護者として、理解啓発・調査研究・政策提言等を行い、発達障害のある人の自立と社会参加の推進に向けて活動を行っています。



JDDnet 大阪は、下記団体が参加して、大阪での JDDnet エリア活動を進めています。

日本発達障害ネットワーク大阪 (JDDnet大阪) 参加団体

大阪府臨床心理士会 大阪府作業療法士会 日本LD学会
S.E.N.Sの会大阪支部会 大阪自閉スペクトラム症協会
大阪LD親の会「おたふく会」 大阪LD・軽度発達障害親の会「翼」
＜オブザーバー＞ 大阪府発達障がい者支援センター
大阪市発達障がい者支援センター
堺市発達障害者支援センター